

# 学びの 広場

## 七宝焼教室



美しい七宝焼に魅せられ勉強を始めてからこれこれ二十数年になろうとしています。「七宝」の七は、どうして七なのか考えてもみなかったけれど、ある日突然孫に聞かれて一瞬答えに窮しました。とっさに「七つの宝石」と教えてから急いで調べてみたら、正解のピンポイントでした。

少し詳しく述べると金、銀、瑠璃、玻璃、硨磲、赤珠、瑪瑙の七種類の宝をいうのだそうです。

一つ一つの宝は希少価値が高く、しかも非常に高価で簡単には私たちの手に入りそうもないため、日常的に装飾品として身に付けることは大変難しいことと思います。

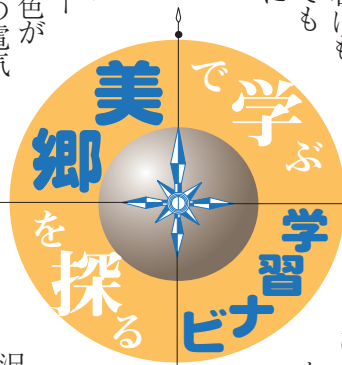
しかし、七宝焼ではそんな宝石にも似た美しいアクセサリーが誰にでも簡単に作れます。最高級のものには金板や銀板が使用されますが、

私たちは銅板に釉薬(ガラスの粉)をのせて、思いのままの構想を膨らませます。目にしみるような六月の新緑のグリーンを指輪に、色とりどりの秋の紅葉のイメージをそのままブローチに。希望の色が発色するように願いを込めて高温の電気炉の中を見つめ心躍らせるその瞬間と思いついた作品が完成した感動は何にも代え難く、皆さんに一度は経験してほしいとお勧めいたします。

お気に入りの作品は手放したくない反面、親しい友人にはどうしてもきれいに仕上がった物をプレゼントしたくなりますし、喜んで身につけてくれる姿を見るとまたうれしくなります。

七宝焼教室は毎月第二土曜日に六郷公民館で開いております。手ぶらで気軽においでください。お待ちしております。

(生涯学習奨励員 坂本シヅ子)



後三年の役は、平安時代後期に起こった東北地方を舞台とした内乱です。前九年の役で手柄のあつた清原氏一族の内紛がもとになっています。

①豪族清原氏の長男真衡と叔母の夫で長老の吉彦秀武との争いです。戦は「真衡十源義家」(秀武+清原家衡+清衡)になりました。真衡は戦の途中で病死し戦は一端終わり、義家はその領地を家衡・清衡に分け与えました。

②その後清原家衡と清衡は父違いの兄弟ですが、分け与えられた領地のことで戦になり、清衡が義家に応援を求めたのです。

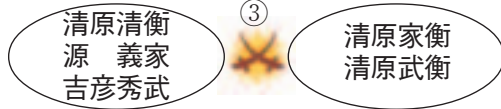
③初めは家衡が沼市(現在の横手市雄物川町沼館)で敵軍を追い払いました。その後

叔父の武衡に勧められ、金沢の柵(金沢八幡宮のあるところ)に移って戦いましたが、ここで兵糧攻めに逢い落城したのです。勝った清衡は藤原

姓に戻り平泉に中尊寺を建て王国を創り栄えました。義家は出羽の国鎮護のため八幡宮を建てました。

④この戦では義家が雁の乱れから伏兵を見つけたこと。飛んできた矢に目を射られた鎌倉権五郎影正がその目を洗ったことでメコカジカが捕れるようになったことなどのお話や古跡が戦場となった金沢全体に多く残っています。

横手市にある後三年の役金沢資料館に



は戎谷南山が描いた戦の様子を表す絵巻物等を展示しています。今年の後三年の役終結920年の節目の年です。金沢の柵の大家家衡が無念の最後の地とされる長岡森(金沢小学校北側)に史跡の標柱が建ちます。

(文化財保護審議会委員 加藤義男)



長岡森から飯詰方向を望む

# 文化財 探訪

No.6 後三年の役

## 短歌

夕ぐれにひぐらしの声澄みわたり盆ふく風に白百合にほふ

金沢 伊藤 敏子

我町の名水百選この清水美郷の誇りここから湧き出

六郷 鈴木 久子

私の母です夏の暑い夜「あしたは雪」と云っては笑う

六郷 藤本 昇

降雨去り待ちたる子らは綻び語り遊園地へと駆け集まりて

金沢 坂本浅次郎

誓いなる亡妻悲しみますことせじを侘び耐えず泣き悲しみますを託ぶ

仙南 東海林甚平

我が身体二度の切腹胃腸耐えてきて今朝も畑で稼げる幸を

六郷 籠谷 ミチ

花木種真白にぞ咲くひしめきて尚美しき夏の夕暮れ

畑屋 本間 精一

梅雨を背に北に向いて旅立つも北の大地の爽やかさに酔う

六郷 岩田 貞

夏休み朝風そよぐ公園にラジオ体操の児童らはずむ

金沢西根 小野寺龍治

供花の百合高き香を部屋いっぱい広がり家族好き嫌いあり

金沢 斉藤 静子

戦争で紛失したる青春が見つからぬ儘八十路を歩む

浪花 田沢 正義

梅雨あけてせみの声聞く真夏かな

六郷 塩寺 栄子

生かされて佛の妻へ門火焚く

六郷 煙山 善吉

梅雨明けで凜と聳える出羽の富士

上深井 高橋 ゆき

日照不足豊作祈る蝉しぐれ

金沢西根 加藤 省市

日々乾く夏草刈りて焼きにけり

畑屋 高橋 周平

打ち返す土の匂いや梅雨上がる

千屋 戸澤 陽子

後三年機銃掃射や終戦忌

本堂城回 杉山 信一

## 川柳

愛犬の残飯カラス皆食る

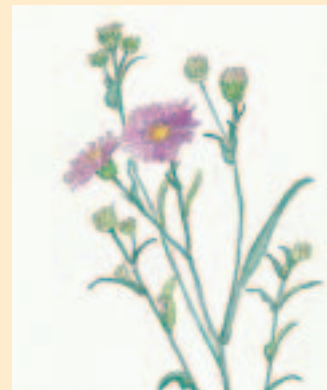
飯詰 小林 耕次

来る人を華やかにして待つ家族

六郷 熊谷 順子

三段腹むかしのお前今いづこ

六郷 奈良 松雪



▲「みやまよめな」  
六郷 坂本 和子



ゆい 結彩ちゃん

(羽貴谷地/一典さん・淳子さん)

「早く大きくなってお姉ちゃんといっぱい遊びたいな♪」



まさひろ 正浩ちゃん

(馬町/宏昌さん・良枝さん)

「家族の一員としてこれからよろしくね!」

## 募集

### あなたの作品やお便りを募集します

あなたの作品やお便りなどを「広報美郷」の紙面で発表してみませんか。

【応募方法】次の①、②を記入のうえ、ご応募ください。

①作品(短歌、俳句、川柳、イラスト、お便りなど)

※短歌等は楷書で、漢字には読み仮名をお願いします。

②応募される方のお名前、ご住所、電話番号

【締め切り】9月15日(金)

【その他】・応募者が多数の場合は、掲載できない場合があります。作品は1点とします。

・作品の内容が広報掲載上好ましくないと町で判断した場合は掲載しません。

### 「美郷の赤ちゃん」を募集します

あなたのかわいい赤ちゃんを「広報美郷」の紙面で紹介し、思い出の1つとしませんか。

なお、平成18年10月号では、平成18年8月に生まれた赤ちゃんの写真を募集します。

【応募方法】次の①、②をそろえてご応募ください。

①赤ちゃんが写っている写真(1枚)

※裏面にご両親と赤ちゃんのお名前、赤ちゃんの生年月日、ご住所、電話番号を記入すること。

※ご応募いただいた写真は、原則として返却しません。

②ご両親(ご家族)からのメッセージ(30字以内) ※様式は自由

【締め切り】9月15日(金)

【応募先】次のいずれかの場所にご応募ください。

●役場(六郷庁舎)町長公室 ●役場各庁舎の総合サービス課 ●美郷町のメール(info@town.misato.akita.jp)